

議事要旨	会議名：北九州 ESD 協議会・令和 3 年度第 4 回運営委員会		
日 時	令和 3 年 11 月 24 日（水）18:00～19:30	会 場	まなびと ESD ステーション
配布物	<ul style="list-style-type: none"> ・「2021 北九州 SDGs 未来都市アワード」進捗状況について ・ユース関連事業 ・今後の運営委員会の在り方について ・グリーンギフト企画案の募集について ・第 8 回おしゃべり工房チラシ ・ESD 韓国スタディオオンラインセミナーチラシ ・第 37 回 ESD ツキイチの集いチラシ 		
出席者	所属	氏名（敬称略）	
	北九州 ESD 協議会運営委員会	日高京子・渡辺いづみ・川島伸治・上永陽一・服部祐充子 原賀いずみ・佐藤信幸・岩谷かおり・坂元光男 北九州市：稲田佳代子・安田絵里 事務局：高橋誠一・山中美鈴 オブザーバー：下田泰奈	
陽 宗	【議題】 1 「2021 北九州 SDGs 未来都市アワード」進捗状況について 2 ESD 協議会「運営委員会の在り方」について 【報告】 1 各プロジェクト報告 <ul style="list-style-type: none"> ・ブランディングプロジェクト ・人材育成・発掘プロジェクト ・調査研究・国際プロジェクト ・イベントプロジェクト 2 事務局報告 <ul style="list-style-type: none"> ・グリーンギフト企画案の募集について ・ユースによる出前講演「身近な SDGs を学ぼう！」 ・12 月のツキイチの集い「地球を救うのは君だ！未来のための環境教育」 3 その他 <ul style="list-style-type: none"> ・第 2 弾 環境先進企業訪問～11 月 5 日 ・「SDGs 図書館大作戦」講演 		
	議題 1	1 「2021 北九州 SDGs 未来都市アワード」進捗状況について 北九州市：今年度の応募総数は 52 件で昨年より 3 件増加した。内訳は、市民部門 38 件（昨年は 41 件）企業部門 14 件（同 8 件）。予備選考（ESD 協議会運営委員及び SDGs クラブ事務局）を経て（11 月 10 日までに実施済み）、本選考委員（資料参照）による本選考を行う。1 月下旬に選考会、2 月には受賞者を決定するスケジュールである。	

議題 2	<p>委員長：「2021 北九州 SDGs 未来都市アワード」進捗状況について、質問や異議はどうか。 委員：異議なし。</p>
	<p>2 「運営委員会のあり方」について</p>
	<p>委員長：ユース関連事業について事務局から説明する。</p>
	<p>事務局：資料「ユース関連事業」に基づき説明。</p>
	<p>委員長：引き続き、市の考えを資料「今後の運営委員会の在り方」に基づき説明する。</p>
	<p>類(行政)：資料「今後の運営委員会の在り方」は、行政として「こうあるべきである」という事ではなく議論を進めていく上での「たたき台」である。</p>
	<p>現状と課題については、活動している団体や個人が固定化され広がりが無い。北九州市は厳しい財政状況の中で、事業の見直しも求められている。また、オンラインが活発化している状態で中での「まなびと」の拠点の問題等がある。</p>
	<p>今後の方針については、行政としても若い世代へのアプローチは望ましいことで、ユースへの更なる支援が必要であると考えている。また、企業等との連携先の開拓も必要と考えている。</p>
	<p>運営委員会の見直しについては、プロジェクトやチーム制が活発に活動している中横の連携や情報共有を図り、新たに(仮称)活動委員会を作ってはどうか。また、協議会の中に、新たな取組、企画を話し合える場として(仮称)企画委員会を作ってはどうか。そして、この2つの委員会が相互に連携を図って情報共有をいけたらいいと思っている。活動拠点、ユース事業については今後検討課題だと考えてる。</p>
	<p>委員：「運営委員会の在り方」について、運営委員だけで決めるのは乱暴である。カフェのような形で多くの会員の意見を聞く場を設けるべきである。次に、先程からユースと言われているが、ユースは30歳代までが対象。しかし、協議会では、学生だけとなっている。ユースの言葉から鑑みてもピント来ない。また、財政的なことも言われたが、「まなびと」の移転についても早く話し合っていくべきだ。</p>
<p>委員：今まで、カフェとかいろいろやってきたけど何も決まっていない。運営委員会である程度絞って、そのうえで、カフェ等で議論を進めた方が良い。ワイワイ、ガヤガヤと何度やっても決まらないのではないかと。次に現協議会でのユースが大学生に限られているということであるが、我々の反省材料であり、今後、30歳代までの人にとどのようなアプローチをやるかという事を考えていかなければならない。北九州市は政令市の中でも高齢化が進んでおり、若い人に対して働きかけを行うのは協議会の柱の1つだと思うし、ユースに対して統括して行っていくことは意義があることだと思う。</p>	
<p>委員：私もいきなりカフェを行うよりも、運営委員会で絞って行った方が良いと思う。</p>	
<p>委員：セントシティに「SDGs ステーション」がオープンすると聞いたが、拠点の問題に関して、「まなびと」は財政的な問題もあるので SDGs と一緒になってもいいのではと思う。「まなびと」ではどうしても限られた大学が主になるが、セントシティであれば、JRに近いので八幡の学生も来やすいと思う。</p>	

議題 3	<p>類(行政) : セントシティは、いくつかが複合して「SDGs スペース」となっている。行政としても、横でつながりができるところはないかと色々行っており、今すぐにははいかないが、お互い少しずつでも出来ればと思う。</p>
	<p>委員 : SDGs と ESD が連携して一緒にやった方が良い。お金も一緒のところから出ているので、一緒にやってこそ北九州市の強みである。ESD は北九州の財産なのでもったいない。このままでいけば、ESD はなくなる。</p>
	<p>類(行政) : 行政内部でも話し合っているが、なかなか話が進んでいない。ただ、アワード等連携して行っているところはある。</p>
	<p>委員 : 活動委員会の構成メンバーに、チームの代表が入るのはどうかと思う。チームは、補助金をもらって自分たちのやりたいことを行っている。プロジェクトとチームを一緒にするのは違う。また、ステークホルダーとして行政が入るのは理解できるが、事務局が入るのはおかしい。事務局はオブザーバーであるべきで、委員として事務局、行政が入るのは違和感がある。</p>
	<p>委員 : 今までの北九州の ESD は市民主体である。RCE に認定されているのは市民の総意というところがあるので、今までの議論の流れを聞いていると RCE を返上しなくてはならないと感じる。私は、ステークホルダーとしての立ち位置で参加しているが、今の ESD 協議会には非常に不信感がある。2 ヶ月 1 回位に加盟団体が集まってワークショップを実施したり、集まった人たちが提案をしたりすることが 5 年前のアクションプランだと思っていた。また、ユースに対するの考え方も青年会議所年代だと思うし、私は若いパパやママと一緒に活動する機会を持っている。また、5 年前のアクションプランに対するの皆さんと理解度も違う。ESD は学ぶことが基本であると思っているし、SDGs のようにゴールを目指して活動していきましょうというのは違うと理解している。行政の都合もわからないこともないが、RCE という北九州 ESD 協議会が持っているミッションをここで考えていくこと、事務局体制の在り方について皆様の意見を聞いて、理解できる部分もあるが正直混乱している。</p>
	<p>委員 : 協議会の在り方について、どのようにしたいのか自分のビジョンが何なのかを言ってもらいたい。</p>
	<p>委員 : 自分のビジョンというよりも、協議会のビジョンを話し合う場が今までなかった。</p>
	<p>委員 : 運営委員は、ステークホルダーということを負って運営委員会に出席していると思う。そこで、「自分はこんなことをします」「このようなプランで行った方がいいです」等の建設的な意見を出して、起爆剤を自分から提供していくことがステークホルダーの役割だと思う。RCE についても、市民がやってきたと言っても、三隅さんが中心に行ってきた。岡山では、ESD は SDGs と一緒になっている。北九州でも SDGs の流れに乗って行かないといけないと思う。時代遅れになっていく。運営委員会については、委員が考えている組織図やたたき台等の具体案を示して欲しい。</p>
	<p>委員 : 組織図に対して、上下関係がどうなのか、交流の仕方はどうなのか、プロジェクトとチームはどう違うのか等の疑問が山のように浮かんでくる。だから、そのようなことを話し合う場が必要だと言っている。</p>

報告	<p>委員：この運営委員会は、細かいことを決める場ではなく、アウトラインを作りましょうという議論の場である。こういう（活動委員会、企画委員会）のを作るか作らないかを決めないと、細かいことを言っていたら先に進めない。</p> <p>委員：今では風が全く違う。世界大会に出席した当時は、ESDは主流で何でも出来ていた。SDGsが出てから、過去のやり方を続けていけば、ESDはつぶれる。5年間で世の中が変わってしまった。SDGsの嵐が吹いている中で、ESDをどう残していくかを考えていかななくてはならない。5年間で変化のすごさを企業は身に染みて感じている。過去のやり方で行っていればESDはつぶれる。</p> <p>委員長：ESD協議会を残していくためにどうしたらよいか。皆さんに考えて頂きたい。事務局（案）に対する意見や、全く違う意見でもよいので事務局にメールで提出して欲しい。1月の運営委員会で皆様の意見について整理し検討していきたい。</p> <p>【報告】</p> <p>1 各プロジェクト報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブランディングプロジェクト <p>委員：未来パレット30号を近日中に発行する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人材育成発掘プロジェクト <p>委員：第8回おしゃべり工房をオンラインで実施する。</p> <p style="padding-left: 2em;">12月18日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査研究国際プロジェクト <p>委員：12月18日、19日に韓国オンラインスタディーセミナー（サテライト会場：グローバルアリーナ）を実施する。今年は「食育」についてRCEインジェ、トンヨン、ドボン区と行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベントプロジェクト <p>委員：11月20、21日に未来ホテルデー（環境ミュージアム）参加。12月2、3日「北九州ゆめみらい」（総合展示場）参加予定。</p> <p>2 事務局からの報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グリーンギフト地球元気プロジェクト企画案の募集（別紙資料参照） ・ユースによる幼稚園、市民センターへの出前講座 <ul style="list-style-type: none"> 貴船市民センター・・・10月19日 本城東幼稚園・・・・・・12月8日 下上津役幼稚園・・・12月15日 ・「ツキイチの集い」実施予定 <ul style="list-style-type: none"> 地球を救うのは君だ！未来のための環境教育・・・・・・12月5日 			
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 40%; padding: 2px;">令和3年度 第5回運営委員会</td> <td style="padding: 2px;">令4年1月26日（水）18:00～19:30</td> </tr> <tr> <td style="width: 20%; padding: 2px;">開催予定日</td> <td style="padding: 2px;">オンライン or 北九州まなびと ESD ステーション</td> </tr> </table>	令和3年度 第5回運営委員会	令4年1月26日（水）18:00～19:30	開催予定日
令和3年度 第5回運営委員会	令4年1月26日（水）18:00～19:30			
開催予定日	オンライン or 北九州まなびと ESD ステーション			

